

## 【学園研B】

### 1. 研究課題名

グローバル化時代における多文化共生の学校づくりと移民の子どもたち  
～オーストラリアとブラジル日系移民の子どもたちへの教育を中心に～

### 2. 研究代表者名

所属学部： 教育学部 職名 教授 氏名 宇土泰寛

### 3. 研究協力者

Anne Zahalka (オーストラリア・シドニー在住 写真家)

### 4. 研究成果の概要(1, 200字程度で記入)

グローバル化の進展により、日本の公立学校へも外国人児童生徒が増加し、多くの学校で多文化共生の学校づくりが大きな課題になってきている。

今年度の学園研Bでは、これらの課題に対して、主に2つの大きな成果を得た。

一つ目は、日本国内の外国人児童生徒の多い三重県や愛知県、東京都の公立学校に継続的に関わり、多文化共生の学校改革を支援できたことである。

二つ目は、トランスカルチュラリズムの視点から、オーストラリアのシドニー在住の有名な写真家であるアン・ザハルカ氏と協力し、多文化共生の資質形成を促す国際理解教育のテキストづくりを行ったことである。

まず、公立学校や地域に継続的に関与しながら、総合的な学習の時間での授業研究や学校改革を支援してきた。特に、三重県四日市市の笹川東小学校へは、学校からの強い要請があり、4月から3月までの1年間に、15回学校を訪問し、学校改革の助言と教材の開発援助を行った。この研究活動を契機に、四日市市教育委員会からも市全体の教員研修の講師に呼ばれ、地域全体の多文化共生に向けた活動に貢献できた。さらに、日系南米人の集住地区として全国的に有名な豊田市の保見団地にある東保見小学校や多様な国際化が進んでいる東京都港区の三光小学校や地域からも依頼され、多文化共生の教育を目指した学校改革の研究実践について、指導助言や模範授業を行うことができた。

次に、オーストラリアについて、1年間を通して、シドニーの写真家アン・ザハルカ氏と協力し、写真中心の国際理解のテキストづくりを行うことができた。

このテキストは、「オーストラリアBOX&STUDY」という題名で、大きく3つの章からなっている。第1章 オーストラリアガイド 第2章 オーストラリアスタディ 第3章 グローバルスタディである。日本とオーストラリアの二人の女の子がガイドになり、写真中心のテキストを通して、深いオーストラリア理解へと誘ってくれるのである。そして、これは、プロのフォトグラファーの写真であり、非常に芸術性も高いので、フォト・ランゲージなど、グローバル教育の手法も使い、国際理解教育に大いに役立つテキストを作ることができた。

そして、第3章では、日本の子どもたちの活動を通して生まれた地球子供博物館を中心に、トランスカルチュラリズムの教育実践を掲載している。(この章の写真撮影は、宇土)

このように、椋山女学園大学の学園研究Bのおかげで、実践と理論、大学と小学校という従来の垣根を越えた研究が実現し、さらに、日本とオーストラリアと国境を越えた協働・連携をも生み出すという大きな成果を得ることができた。

ただ、オーストラリアでの移民の子どもたちの学力・意欲が高い背景を探る調査研究は、シドニーの小学校と2校と関わりを持つことができ、基本的なインタビュー調査などを行った段階であり、まだ時間がかかるので、次年度もぜひ継続して研究を進めたいと願っている。